

安全上の注意事項

ご使用になる前に必ずお読み下さい。



危険

：怠ると怪我・事故につながる要注意事項を示してあります。



注意

：怠ると部品の損傷などにつながる要注意事項を示してあります。

参考

：スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。



警告

1. 製品の分解・加工・改造の禁止。

製品の機能が損なわれ、故障等により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

2. ガasket・Oリングなど消耗品等は必ず新品に交換すること。

オイル漏れ等の原因になり、オイルに乗って転倒し怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

3. 組立時に指示指定以外の加工・改造は行わないこと。

破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

4. 指定製品との組み合わせ以外での組立は行わないこと。

破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

5. 各取付ボルト及びナットは、必ず走行前に締め付けの確認をして下さい。

ボルト及びナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

6. エンジン始動の際は、排気の良い所で行うこと。

排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

7. エンジンが完全に冷えてから作業をすること。

エンジン回転中や停止後はしばらくの間エンジン及びマフラーは高温になっています。

8. 近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないこと。

火災の原因になります。

9. 絶対に人や動物等が触れない場所に止めること。

火災の原因になります。



注意

1. 作業の際は、必ず水平な場所で車体を安定させる事。 作業中、車体は倒れて怪我をする恐れがあります。

2. メンテナンスを頻繁に行うこと。 トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。

3. オイルの量をこまめにチェックをすること。 トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。



注意

慣らし運転中は、急発進・急加速などの重負荷の掛かる走行は行わないで下さい。

■慣らし運転終了後、エンジンオイルの交換と、異音等が無いことを確認します。

異音がでている場合は、再度エンジンを点検します。

参考

エンジンオイルは、本書指定 HONDA 純正オイルウルトラE1をご使用下さい。

取り付けの際には、他のパーツとの干渉等を充分確認の上作業を行って下さい。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※当社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用下さい。

●適応機種 PCX(JF28-1100000 ～)、LEAD125

※上記以外の機種には絶対に使用しないで下さい。



ENDURANCE

hi-POWER CAMSHAFT

取扱説明書

ED14100-KWN-A01

このたびは本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただきいつも手元に置いて正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元の置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

ご使用の前に必ずお読み下さい。

- 本書は、取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
本製品を取り付ける場合は、図を参考に作業をして下さい。
- 本製品はレース用部品ですので一般公道での走行は絶対に行わないで下さい。
- 本書は、国家検定整備士資格を持った方を対象にしています。整備士資格をお持ちでない方は、
信頼のおけるお店に取り付けを依頼して下さい。
- 当社の指定する部品以外を使用した場合、本来の性能を発揮することが難しくなります。
- 取り付けの前に本製品を洗淨油・パーツクリーナー等で洗淨して下さい。
- エンジンを取外して作業を行う場合は、エンジンスタンドを使用して下さい。
- 本製品組み付け後、エンジンオイルは新品を注入して下さい。
エンジンオイルは、HONDA 純正オイルを使用して下さい。
- 使用燃料は、レギュラーガソリンです。
- オイル消費が多くなる傾向にありますので、走行前に必ずオイル量のチェック行って下さい。
オイルが消費している場合には、必ず適量になるように補給してから走行して下さい。
- 本製品は下記適応車種の専用製品です。他車種には取り付けることは出来ません。

●保証について

※本製品はレース専用部品になりますので、いかなる場合でも一切の保証はありませんのでご了承下さい。

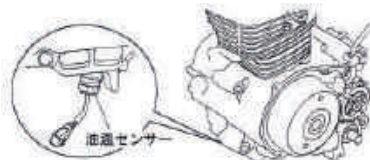
取り付けについて

以下に記載されている項目は、本製品取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
図を参考に組み込んでください。本製品に含まれていない部品は、再度使用します。
再使用するパーツにキズ、ヘタリ、磨耗の劣化が著しい場合は新品と交換して下さい。



注意

エンジンを取り外して作業を行う時は、エンジンスタンドを
使用して下さい。油温センサーがオイルパンに取り付け
られた状態で、床に直接エンジンを置きますと、油温セン
サーが破損する恐れがあります。



●分解の前に

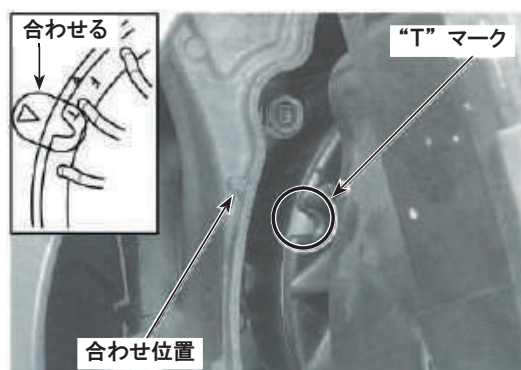
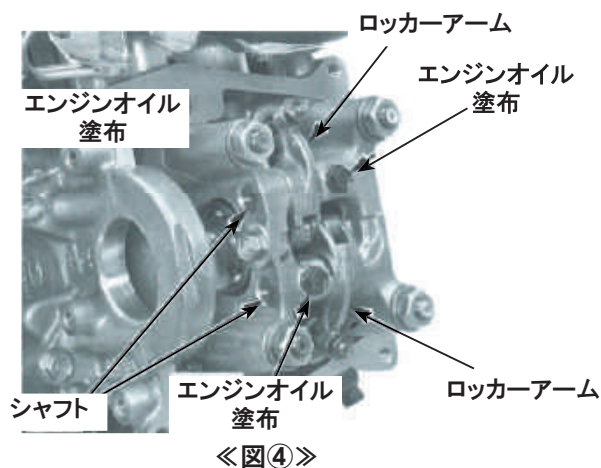
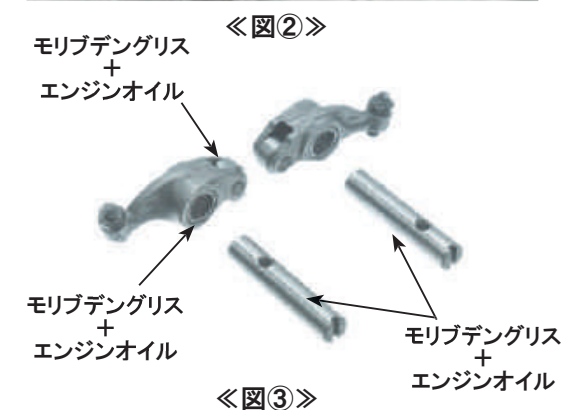
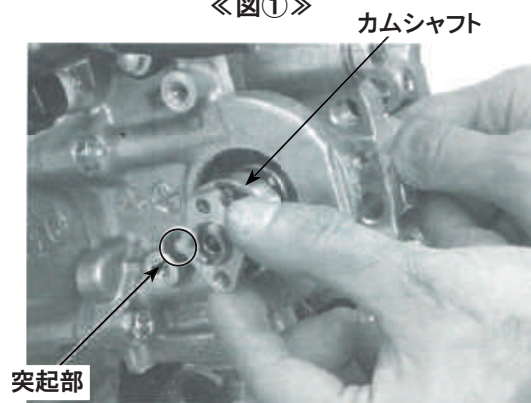
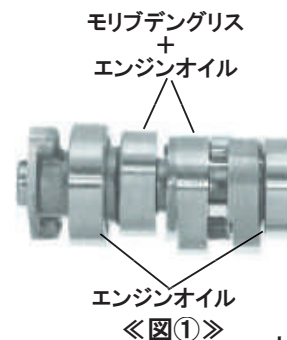
- 車両のサービスマニュアルを参照にしてSTDカムシャフトの取外しをします。

●カムシャフト取付けの前に

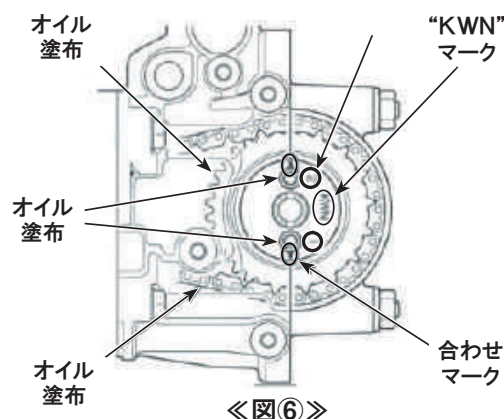
STDカムシャフトについているデコンプ機構を取外して、本製品に取り付けします。デコンプ機構の
入れ替え作業は、かなり高度な技術を要しますので、専門の業者もしくは当社に依頼して下さい。
(※別途、作業料金が発生します。)

●カムシャフトの取付け

1. カムシャフトのベアリング部にエンジンオイルと塗布し、カム山にモリブデン溶液を塗布します。(図①)
※モリブデン溶液＝モリブデングリリス＋エンジンオイル（１：１）
2. カムシャフトのフランジ部の突起が後側になるように向けてカムシャフトを取り付けます。(図②)
3. カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付けたら、カムシャフトを180°回転させて、先程は後側にあった突起部を前側になるようにしておきます。
4. カムシャフトストッパーボルトを締付けます。
＜締付トルク＞ 10 N・m
5. ロッカーアームのローラー部分とニードルベアリング部に、モリブデン溶液を塗布します。また、シャフトにも同様にモリブデン溶液を塗布します。(図③)
※ロッカーアームにはそれぞれ、IN、EXの刻印がしてあるので、間違えないように組込んで下さい。
6. インレットロッカーアーム、エキゾーストロッカーアームをシリンダーヘッドに取り付けます。ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッドに取り付け、ドライバー等でシャフトのボルト穴とシリンダーヘッドの穴を合わせます。ロッカーアームシャフトストッパーボルトのネジ部、座面にエンジンオイルを塗布し、締付トルク（5N・m）で締め付けます。(図④)
7. クランクシャフトを回し、クーリングファンの“T”マークをラジエーターベースの合わせマークに合わせます。(図⑤)
8. カムチェーン全周とカムスプロケットの歯面にエンジンオイルを塗布します。カムスプロケットをカムチェーンにセットし、カムシャフトに取り付けます。(図⑥)
カムスプロケットの合わせマークとシリンダーヘッドの端面を合わせ、“KWN”マークがエンジン上側になるようにカムスプロケットを取り付けます。
カムスプロケットソケットボルトのネジ部、座面にエンジンオイルを塗布し、カムスプロケットに打刻してある番号順に指定トルクで締め付けます。
※締付トルク：8 N・m
9. カムチェーンテンションリフタのストッパーを外して、車両を元の状態に戻します。
10. バルブクリアランスを点検します。
IN側：0.10±0.02mm、EX側：0.24±0.02mm
11. 取外した逆の手順で、車両のサービスマニュアルを参考にして組立てていきます。



《図⑤》



《図⑥》

●各部の点検

■本製品を取り付けた後は、下記の項目に沿って点検を行って下さい。

- ・エンジンオイルの量
- ・各部の締め付け（ボルト、ナットの締め忘れがないか点検します。）
- ・オイル漏れ、異音の有無と油圧（エンジン始動させ、異音がしないかオイル漏れがないか点検します。エンジンの始動と油圧の点検は、下記の「エンジンの始動について」を参照して下さい。）
- ・その他、走行するにあたりタイヤの空気圧、ブレーキの効き具合、ブレーキパットの磨耗、ブレーキオイルの漏れ、車体廻りのボルト、ナットの緩みがないか点検して下さい。

【燃料補正について】

■本製品は純正状態でカムのみを取り付けた場合には燃料補正は必要ありません。その他にエンジン部品（マフラー、ボアアップなど）を取り付けた場合には燃料補正が必要になる可能性があり、本来の性能を発揮することが出来なくなる恐れがありますので、その際には必ずインジェクションコントローラなどで燃料補正を行って下さい。

→別途、販売しております弊社製インジェクションコントローラーを取付けて頂くと、車両の仕様に合った MAP を選択するだけで簡単に燃料補正を行うことが出来ます。

※弊社以外のインジェクションコントローラーでは、マップをご自身で製作する必要がありますのでご注意下さい。

【エンジンの始動について】

■焼き付き、かじり等の防止の為、シリンダーヘッドまでオイルが十分に行き渡る様に、以下の手順でオイル上げ作業を行って下さい。

- ・エンジンの負担を軽くする為に、スパークプラグを外した状態でクランキング（空回し）を行います。
- ・数分間放置した後、オイルレベルを点検し、オイルが足りない場合は補充します。

締付けトルクについて

